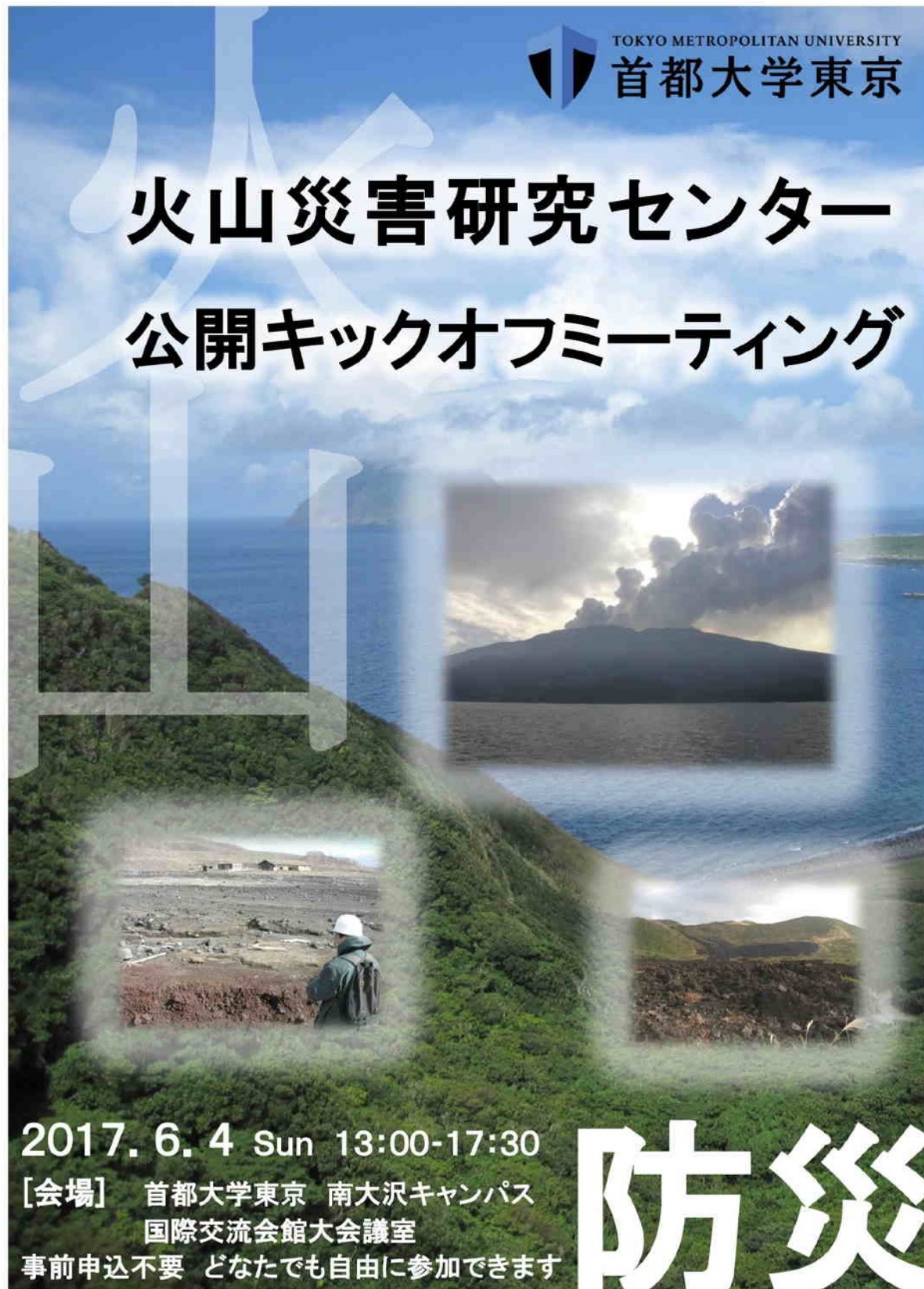


火山災害研究センター設立の趣旨



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
首都大学東京

火山災害研究センター 公開キックオフミーティング

2017. 6. 4 Sun 13:00-17:30
[会場] 首都大学東京 南大沢キャンパス
国際交流会館大会議室
事前申込不要 どなたでも自由に参加できます

防災

- ・ 設立までの経緯
- ・ 準備・体制確立
- ・ 目的
- ・ 計画
- ・ メンバー
- ・ 今日のミーティング

首都大学東京火山災害研究センター
都市環境科学研究科地理環境科学域
鈴木毅彦

2011年以降、5年間に発生した自然災害

震	東日本大震災	戦後最悪の地震災害、津波と原発災害	(2011年 3月)
雨	伊豆大島土砂災害	火山地域でおきたまさかの土砂災害	(2013年 10月)
雨	広島土砂災害		(2014年 7月)
火	御嶽火山噴火	戦後最悪の火山災害	(2014年 9月)
震	長野県北部の地震	長野県神城断層地震	(2014年 11月)
火	口之永良部島噴火		(2015年 5月)
火	箱根火山	活動の活発化と小噴火	(2015年 6月)
火	桜島火山	活動の活発化と噴火警戒レベル2から4へ	(2015年 8月)
雨	H27年9月関東・東北豪雨災害	鬼怒川の氾濫	(2015年 9月)
震	熊本地震	活断層による直下地震（犠牲者131名）	(2016年 4月)
雨	北日本水害	北海道・東北を襲った台風	(2016年 8月)
火	阿蘇火山	36年ぶりの爆発的噴火	(2016年 9月)
震	鳥取県の地震	M6.6直下地震（横ずれ型）	(2016年10月)
震	福島県沖の地震	M7.4正断層型地震、約1.4mの津波	(2016年11月)

信濃毎日新聞 号外

電話申し込み
フリーダイヤル
0120・81・4341
信報ホームページ
http://www.shinmai.co.jp

御岳山噴火



1回目の噴煙を上げる御岳山＝27日午前11時53分、御岳山9合目（名古屋市天白区の会社員野嶋大介さん撮影）

噴煙3キロ流れ下る 中規模以上 複数のけが人情報

気象庁によると、27日午前11時53分ごろ、木曽郡王滝村と岐阜県境にある御岳山（3067メートル）が噴火した。国土交通省中部地方整備局が同村に設置しているカメラの映像で、南斜面を噴煙が3キロに渡って流れ下ったのを確認した。同庁は、今後も住民の居住地近くまで影響を及ぼす噴火の可能性があると、火口から4キロ程度の範囲で、火口から約150人が取り残されている。4人が火に埋まっていたと、建物の周囲に数人が倒れていたとの

通報があった。気象庁は御岳山の噴火警戒レベルを3に引き上げた。同火山は、1977年の中規模噴火と同程度、あるいはそれ以上とみている。王滝村は午後0時50分、対策本部を設置。村によると、御岳山は境界が悪く、山頂近くの山荘には一時数十人の登山客が待機。午後1時すぎに同村田の原に降りて約70人が下山を始めた。木曽郡木曽町によると、御岳ロープウェイの駐車場には、灰が6、7センチ積もった。



詳細は本紙で

御嶽山噴火 死者47人に

戦後最悪 雲仙上回る火山災害



火山性微動が安定 天候を考えると「今日だった」 救助1000人態勢 一気に搬送

御嶽山の噴火は、27日午後11時53分、木曽郡王滝村と岐阜県境にある御岳山（3067メートル）が噴火した。国土交通省中部地方整備局が同村に設置しているカメラの映像で、南斜面を噴煙が3キロに渡って流れ下ったのを確認した。同庁は、今後も住民の居住地近くまで影響を及ぼす噴火の可能性があると、火口から4キロ程度の範囲で、火口から約150人が取り残されている。4人が火に埋まっていたと、建物の周囲に数人が倒れていたとの

県内あすにかけ雨
御嶽山の噴火は、27日午後11時53分、木曽郡王滝村と岐阜県境にある御岳山（3067メートル）が噴火した。国土交通省中部地方整備局が同村に設置しているカメラの映像で、南斜面を噴煙が3キロに渡って流れ下ったのを確認した。同庁は、今後も住民の居住地近くまで影響を及ぼす噴火の可能性があると、火口から4キロ程度の範囲で、火口から約150人が取り残されている。4人が火に埋まっていたと、建物の周囲に数人が倒れていたとの

御嶽山噴火関連
スズメで動画が見られます
（9月28日現在）

御嶽山の噴火は、27日午後11時53分、木曽郡王滝村と岐阜県境にある御岳山（3067メートル）が噴火した。国土交通省中部地方整備局が同村に設置しているカメラの映像で、南斜面を噴煙が3キロに渡って流れ下ったのを確認した。同庁は、今後も住民の居住地近くまで影響を及ぼす噴火の可能性があると、火口から4キロ程度の範囲で、火口から約150人が取り残されている。4人が火に埋まっていたと、建物の周囲に数人が倒れていたとの

御嶽山の噴火は、27日午後11時53分、木曽郡王滝村と岐阜県境にある御岳山（3067メートル）が噴火した。国土交通省中部地方整備局が同村に設置しているカメラの映像で、南斜面を噴煙が3キロに渡って流れ下ったのを確認した。同庁は、今後も住民の居住地近くまで影響を及ぼす噴火の可能性があると、火口から4キロ程度の範囲で、火口から約150人が取り残されている。4人が火に埋まっていたと、建物の周囲に数人が倒れていたとの

御嶽山の噴火は、27日午後11時53分、木曽郡王滝村と岐阜県境にある御岳山（3067メートル）が噴火した。国土交通省中部地方整備局が同村に設置しているカメラの映像で、南斜面を噴煙が3キロに渡って流れ下ったのを確認した。同庁は、今後も住民の居住地近くまで影響を及ぼす噴火の可能性があると、火口から4キロ程度の範囲で、火口から約150人が取り残されている。4人が火に埋まっていたと、建物の周囲に数人が倒れていたとの

御嶽山の噴火は、27日午後11時53分、木曽郡王滝村と岐阜県境にある御岳山（3067メートル）が噴火した。国土交通省中部地方整備局が同村に設置しているカメラの映像で、南斜面を噴煙が3キロに渡って流れ下ったのを確認した。同庁は、今後も住民の居住地近くまで影響を及ぼす噴火の可能性があると、火口から4キロ程度の範囲で、火口から約150人が取り残されている。4人が火に埋まっていたと、建物の周囲に数人が倒れていたとの

御嶽山の噴火は、27日午後11時53分、木曽郡王滝村と岐阜県境にある御岳山（3067メートル）が噴火した。国土交通省中部地方整備局が同村に設置しているカメラの映像で、南斜面を噴煙が3キロに渡って流れ下ったのを確認した。同庁は、今後も住民の居住地近くまで影響を及ぼす噴火の可能性があると、火口から4キロ程度の範囲で、火口から約150人が取り残されている。4人が火に埋まっていたと、建物の周囲に数人が倒れていたとの

御嶽山の噴火は、27日午後11時53分、木曽郡王滝村と岐阜県境にある御岳山（3067メートル）が噴火した。国土交通省中部地方整備局が同村に設置しているカメラの映像で、南斜面を噴煙が3キロに渡って流れ下ったのを確認した。同庁は、今後も住民の居住地近くまで影響を及ぼす噴火の可能性があると、火口から4キロ程度の範囲で、火口から約150人が取り残されている。4人が火に埋まっていたと、建物の周囲に数人が倒れていたとの

信濃毎日新聞



10月2日木

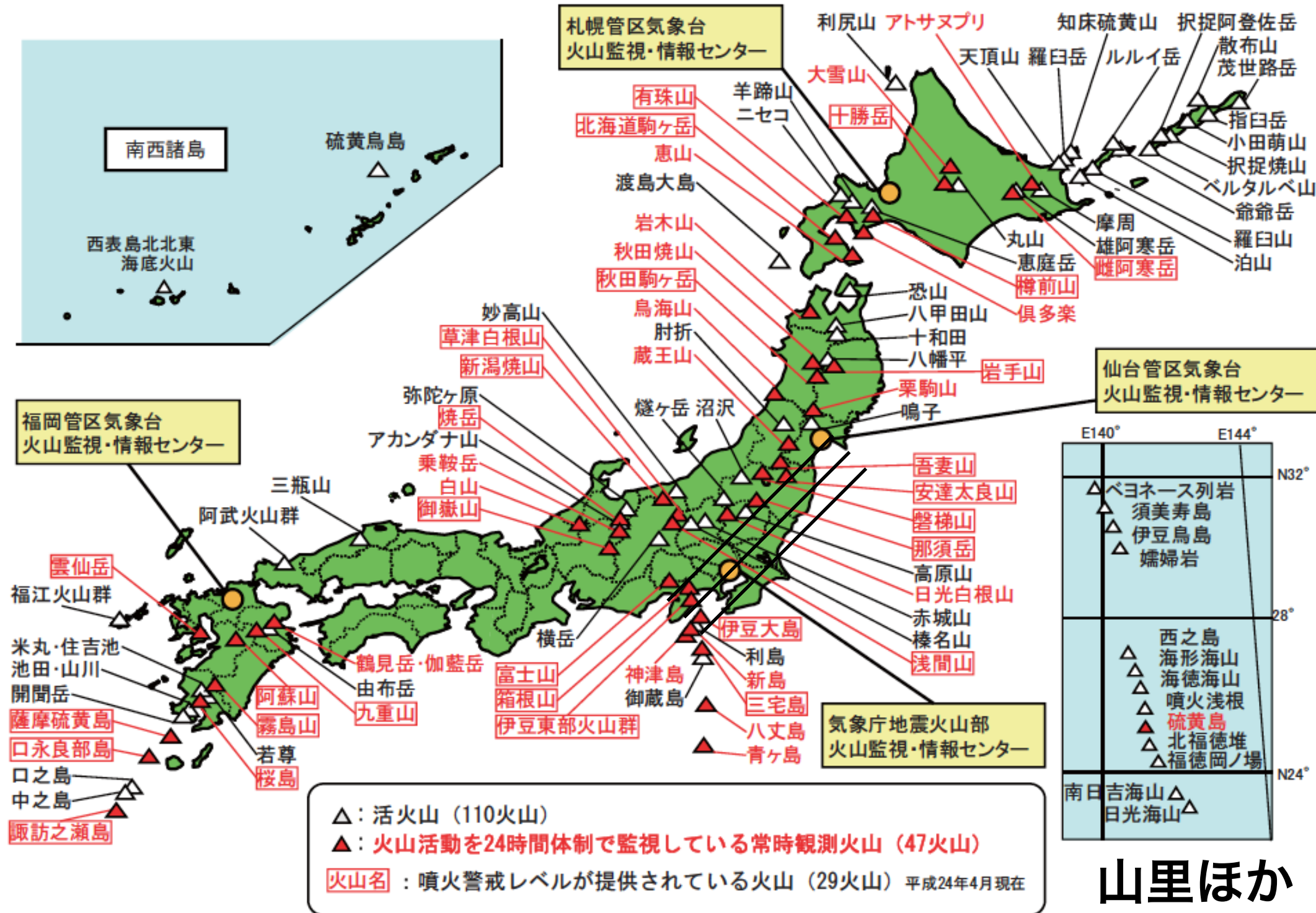
天気

地域	天気	気温
長野県	晴	15～25℃
岐阜県	晴	15～25℃
静岡県	晴	15～25℃
愛知県	晴	15～25℃
東京都	晴	15～25℃
千葉県	晴	15～25℃
埼玉県	晴	15～25℃
茨城県	晴	15～25℃
栃木県	晴	15～25℃
群馬県	晴	15～25℃
富山県	晴	15～25℃
石川県	晴	15～25℃
福井県	晴	15～25℃
山梨県	晴	15～25℃
山形県	晴	15～25℃
秋田県	晴	15～25℃
宮城県	晴	15～25℃
福島県	晴	15～25℃

信濃毎日新聞／2014年 9月27日号外紙面

信濃毎日新聞／2014年10月2日朝刊紙面→

活火山は過去1万年間に噴火した歴史を持つ火山



山里ほか（2013）

日本国内では110の活火山が気象庁により指定されており，そのうち一割をこえる14の活火山（海底火山を含めると21）が東京都に存在する．いずれも火山島であり8の火山島には居住者も存在．

2014年9月 御嶽噴火災害

2015年秋 首都大での火山研究可能性／Task Force

- 首都大学東京で火山災害研究として何ができるのか？
- 学内で関わることができる教員は？
- 首都大ならではのユニークな点は？
- 最終目標は？

2016年3月末 首都大学東京火山災害対策研究 研究計画案の提出

2016年7月 首都大学東京高度研究推進イニシアティブ都市環境科学研究科附属
研究センター設置申請

名称：火山災害研究センター

(Research Center for Volcanic Hazards and Their Mitigation)

2017年3月 発足

2017年1～4月 複数回のセンター打ち合わせ

2017年5月 文科省次世代火山研究者育成コンソーシアム協力機関への申請

2017年5月 研究実施計画書

2017年6月 キックオフミーティング

現在国内の大学に設置された「火山」の語を名称に含む主なセンター・観測拠点

北海道大学理学部地震火山研究観測センター

北海道大学地震火山研究管理センター

弘前大学地震火山観測所

東北大学地震・噴火予知研究観測センター

東京大学地震研究所火山噴火予知研究推進センター

東京大学地震火山情報センター

名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター

京都大学火山研究センター

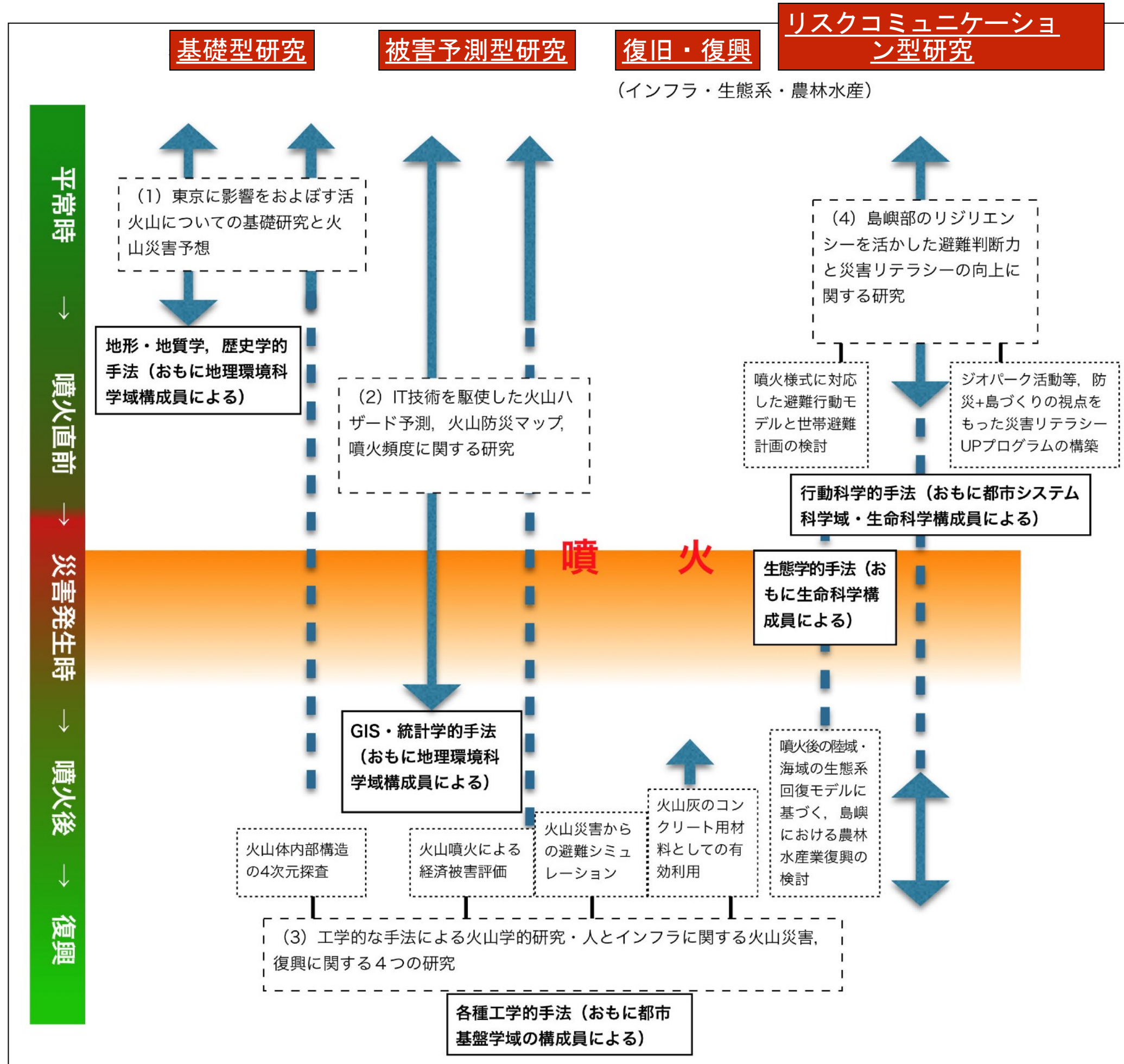
九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター

福岡大学国際火山噴火史情報研究所

大半は理学系，とくに地球物理学的なアプローチで火山観測を実施し，常時から火山の地球物理学的なデータの取得とそれに基づく噴火の直前予知に主眼をおいている。



三宅島2000年噴火



センターの体制・メンバー

センター申請時（2016年7月） 12名 (学外海外1名含む)

現在 13名 (学外海外1名含む)

地理環境科学域 4名: おもに地形，地質学分野中心
火山灰編年学，堆積学，GIS

都市基盤環境学域 4名: 物理探査・地震工学，土木計画学，構造工学

都市システム科学域 1名: 都市防災・災害研究／行動科学

生命科学専攻2名: 島嶼生態学，海洋生物学

実は火山プロパーの研究者は少ない！

センターの体制・メンバー

No	氏名	所属研究機関・部局・職		現在の専門・役割分担
1	鈴木毅彦	都市環境科学研究科	地理環境科学域・教授	自然地理学・火山学／統括，地形・地質研究，歴史学研究チーム主査，火山噴火史構築
2	白井正明	都市環境科学研究科	地理環境科学域・准教授	堆積学／ラハール（火山泥流）・土砂移動
3	石村大輔	都市環境科学研究科	地理環境科学域・助教	地形学／噴火史構築
4	中山大地	都市環境科学研究科	地理環境科学域・助教	数値地形学／GIS・統計研究チーム主査，火山に関するGIS，リモートセンシング，モデル
5	小田義也	都市環境科学研究科	都市基盤環境学域・准教授	物理探査・地震工学／工学研究チーム主査，地下構造探査，干渉SARによる地表変動観測
6	上野 敦	都市環境科学研究科	都市基盤環境学域・准教授	コンクリート工学／火山灰の有効利用
7	石倉智樹	都市環境科学研究科	都市基盤環境学域・准教授	土木計画学、空間経済分析／火山災害の経済被害評価
8	岸 祐介	都市環境科学研究科	都市基盤環境学域・助教	構造工学、防災工学／避難シミュレーションによるリスク評価と対策の検討
9	市古太郎	都市環境科学研究科	都市システム科学域・教授	都市防災・災害研究／行動科学研究チーム主査
10	可知直毅	理工学研究科	生命科学専攻・教授	島嶼生態学／災害リテラシープログラム（陸域）構築
11	黒川 信	理工学研究科	生命科学専攻・准教授	海洋生物学／災害リテラシープログラム（海域）構築
12	David Lowe	ワイカト大学（NZ）・教授		火山灰編年学／噴火と人類の相互関係

テーマA:基礎型研究

サブテーマ A1 (活火山の基礎研究:鈴木・白井・石村・西澤)

サブテーマ A2 (タイムラプス自然地震&SAR:小田)

サブテーマ A3 (IT技術:中山)

テーマB: 被害予測型研究←災害軽減

サブテーマ B1 (数値シミュレーション避難対策:岸)

サブテーマ B2 (社会経済への間接的影響:石倉)

※A3をテーマBに置くこともある.

テーマC:復旧・復興

サブテーマ C1 (火山灰コンクリート:上野)

テーマD: リスクコミュニケーション型研究

サブテーマ D1 (避難シナリオ+避難計画:市古)

サブテーマ D2 (災害リテラシーUPプログラム:可知・黒川)

【はじめに】

13:00-13:20

「火山災害研究センターの設立の趣旨」

「首都大学東京 学長挨拶」

鈴木毅彦 火山災害研究センター長
都市環境科学研究科 地理環境科学域

上野淳
首都大学東京 学長

【研究紹介】

13:20-16:40

「東京をとりまく火山の状況」

「2000年三宅島噴火における泥流発生シミュレーション」

「タイムラプス自然地震トモグラフィによる地下構造探査
と干渉SAR解析による地表変動」

「火山災害における避難シミュレーションの活用」

鈴木毅彦 火山災害研究センター長
都市環境科学研究科 地理環境科学域

中山大地
都市環境科学研究科 地理環境科学域

小田義也
都市環境科学研究科 都市基盤環境科学域

岸祐介
都市環境科学研究科 都市基盤環境科学域

< 休憩 >

「火山噴火による交通被害とその間接的影響」

「火山灰のコンクリート用材料としての有効利用:現地
ニーズの把握と火山灰の特性に応じた適用先の検討」

「自然環境および地域社会との相互作用避難判断モデル
-2011年東日本大震災津波避難調査と2013年伊豆大
島台風26号土砂災害調査から-」

石倉智樹
都市環境科学研究科 都市基盤環境科学域

上野敦
都市環境科学研究科 都市基盤環境科学域

市古太郎
都市環境科学研究科 都市システム科学域

【コメント・総合討論】

16:40-17:30

遠藤邦彦氏(日本大学名誉教授)、井上公夫氏(一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構)、
久利美和氏(東北大学)